

企画セッション

持続可能な未来社会の創造に向けたものづくりプロセスの革新と LCA

日時： 3/7（水）16:40-18:00, オーガナイザー：福島康裕、菊池康紀

第5期科学技術基本計画において、新しい知識やアイデアが組織や国の競争力を大きく左右する現代においては、新しい試みに果敢に挑戦し、非連続なイノベーションを積極的に生み出すハイリスク・ハイリターンな研究開発を推進していくことの重要性が指摘され、これに向けた具体的取り組みが始まっています。本企画セッションでは、こうした取り組みの一つである JST の未来社会創造事業に採択され、平成 29 年 11 月より始動した 4 件のプロジェクトが一堂に会し、研究開発の概要を共有するとともに、ものづくりプロセスの革新において LCA が期待されている役割を議論します。広く学会会員の参加を得て、今後の社会実装を強く意識した科学技術の開発の推進という大きな潮流の中で、LCA 技術者が立ち向かうべき挑戦を明確にするための作業をおこないたいとおもいます。

概要

1. セッションの趣旨説明（東大 菊池 康紀, 10 分）

2. プロジェクトの概要紹介（各 12 分）

製品ライフサイクル管理とそれを支える革新的解体技術開発による統合循環生産システムの構築

早大 所 千晴

Pイノベーション創出技術開発

東北大 長坂 徹也（代理：東北大 三木 貴博）

リマンを柱とする広域マルチバリュー循環の構築

産総研 松本 光崇

革新的ハロゲン循環による材料の高資源化プロセスの開発

東北大 吉岡 敏明

3. ディスカッションによる論点の提案と意見交換

（司会：東北大 福島 康裕, 20 分）

持続可能な未来社会の構築のための技術開発において
LCA の果たす役割についてぜひ共に語り合いましょう！！